



# NPO やすらぎの郷いいの



安心して住み続けられるまちをつくりたい！



## やさしくの郷いいの 10周年 おかげさまで

10周年 感謝の気持ちを込めてタオルをつくりました。  
千貫森とUFOと・・・デザインとタオルへのプリント  
はすべて、佐藤 剛士さんの労作です。当法人ヘルパー  
のご主人です。

# 有償ボランティアによる生活支援活動 10年目にあたって

生活支援サービス（草むしり、草刈り、お墓掃除、そうじ片付け、病院付き添いなど）の現状の課題をまとめてみました。



## ①ボランティアの確保

早くからボランティアとして活躍された方が一線を退かれ、後継者確保が難しい状況です。ニーズはあり、提供依頼のお話が来るのですが、ボランティア不足の為、お断りせざるを得ないことが増えています。

## ②依頼者とボランティアの間にとってまとめる役割

生活の場における支援なので、個人個人で希望する内容に違いがあります。ニーズをきちんと聞いて、どのボランティアさんに依頼するかを決め、聞いた情報をボランティアさんに伝え依頼します。この役割が一番大変です。

## ③依頼者とボランティアの相互理解を図る

ボランティアは、身近なところまでできることをすすんで行う活動です。皆が地域で豊かに暮らせるために、困っていることをできる範囲でお手伝いし、お互いに助け合う、そのことを理解していただけるように努めたいと思います。

ボランティアはプロではないので、必要な場合は専門職の方を紹介します。



## 理事会より

今年度定期総会で、役員改選があり、前回号でお知らせしました。互選で理事長、副理事長が決まりましたので、お知らせします。

- 理事長・伊藤 敏寛（再任）
- 副理事長・熊田 吉弘（新任）

## 新役員紹介

監事 高橋 正



このたび監事に選任いただきました高橋 正です。  
故朝倉 健さんは、飯野町役場で

私の1年後輩ですが、「NPOやすらぎの郷いいの」の開設とその後の運営に、多大な尽力をされたと思っておりましたので、何かできることがあればお手伝いしたいという考えを持っていました。

現在、川俣町のNPO法人（就労支援B型）に勤務しております。利用者等の対象が異なり、これまでの経験（事務・送迎）がどれだけ役立つかわかりませんが、任務遂行に努力したいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



## みんなの広場



### 耳を傾け寄り添って



10月末からお世話になっています。よろしくお願いします。

一度介護職から離れていましたが、状況が落ち着いたためもう一度介護をやりたいと思い、以前お世話になっていたやすらぎの郷さんにまたお世話になることになりました。

ブランクもあり不安もありましたが、職員のみなさんに助けていただき安心して仕事をする事ができています。

利用者様が笑顔で「待ってたよー」と言ってくださる時が介護の仕事をやっている良かったと思う瞬間です。

利用者様一人一人が安心して在宅で過ごしていけますよう、耳を傾け寄り添ったケアに努めて行きたいと思います。

〈ヘルパー 半沢 隆子〉

### 最強コンビに感謝

現行の介護保険制度では頼めない‘庭の草むしり’と言えば伊藤桂子さんと加藤ハル子さんです。長い間当NPOの有償ボランティアとして活躍されてきました。仕事の速さと仕上がりは、折り紙付きでしたが、さすがのお二人も年齢には勝てず昨年をもって引退されました。

夏の暑いさなかなど、当たり前の報酬を求めずにひたすら汗を流されていた姿は、私達が最近はずっかり忘れていた言葉を思い出させてくれました。

本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

〈ボランティア委員会一同〉



### 「RUN伴ふくしま2023」

9月16日（土）、認知症啓発イベント「RUN伴ふくしま2023」が開催されました。福島市役所から飯野支所を經由し川俣町役場まで、認知症の人や家族、一般ランナーがタスキをつなぎまし

た。当法人は、実行委員会事務局として協賛協力し、斎藤事務局長が奮闘しました。

認知症になる方が増えている今、関心を持っていただきたいイベントです。よろしくです。



## 住み慣れた自宅のように

「結びの家いろは」は、2022年旧「かぞくの家」様より引継ぎホームホスピスとして運営しております。早いもので1年2カ月が経ちました。

ホームホスピスとは何だろうか？と思う方が多いと思います。我々の施設では、ガンの患者様に限らず、自宅での生活が困難になった方や医療依存度の高い方、認知症の症状がある方など、様々な方が生活をされています。病気があるから、寝たきりだからといって部屋の中で休んでいてもらうのではなく、住み慣れた自宅のように一人ひとりが当たり前の生活を送っていくことができるようにお手伝いをさせていただいています。

最近では敷地内で芋煮会を行いました。準備をしている中、ご近所の方より「今日は何をするの？



芋煮会(飯野町原田)

頑張ってね」と温かい声を掛けていただくことができました。まだ、「結びの家いろは」をご存じない方は沢山いると思います。地域の活動への参加や情報発信を通して、施設として孤立するのではなく、地域に根ざした場となっていければと思っています。

ホームホスピス 結びの家いろは  
ヘルパー責任者 玉田真理



## 会員・賛助会員 ボランティア募集



NPO やすらぎの郷いの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

### 一口一言

給料を上げるために価格転嫁できつつあるとニュースで聞いた。介護や医療は公定価格であるため、勝手に価格転嫁はできない。職員の給料は上げ難く、格差がひろがる。ケアは生きるために絶対必要なことなのにと思ってしまう。これからの10年のためにも。

(K)